



第571号

令和7年1月1日

公益財団法人 千鳥ヶ淵 戦没者墓苑奉仕会
〒102-0075 千代田区三番町2
電話 03 (3261) 6700
FAX 03 (3261) 6712



http://www.boen.or.jp
郵便振替口座 00140-2-42556

編集人 中村 勤
発行人 杉本 順則

令和7年

謹賀新年



雲海に浮かぶ富士

終戦80年の年頭ご挨拶

(公財) 千鳥ヶ淵戦没者墓苑奉仕会

会長 鈴木 俊一



会長 鈴木 俊一

明けましておめでとうございます。我が国はコロナ禍を脱し人々の生活もほぼ正常な姿に戻りましたが、昨年元日に発生した能登半島地震、さらに長期にわたる夏の記録的な高温や集中豪雨など異常気象にも見舞われました。被災された皆様に改めてお見舞い申し上げます。

世界に目を向けますと、米国のトランプ前大統領の再選や、ロシアのウクライナ侵攻に北朝鮮軍の参戦、中東紛争の拡大などの事案は我が国にも大きな影響を及ぼす可能性があります。そのような中であって、昨夏夏開催されたパリ五輪卓球女子シングルスで銅団体で銀メダルに輝いた早田ひな選手は、帰国後の記者会見で「今やりたいこと」を問われた際、「鹿児島の特攻資料館に行き、生きていること、そして、卓球が当たり前前にできていることが、当たり前ではないというのを感じたいな」と思っている、行ってみたい」と語つ

昭和天皇御製碑
秩父宮勢津子妃殿下揮毫
くのためいのら
ささげしひとくらの
こととおもへばむねせまり
くる

上皇陛下御製碑
常陸宮華子妃殿下揮毫
戦なき世と
歩みきて思ひ出づ
かの難き日と
生きし人々

たそうです。私は彼女の言葉に一筋の光を見る思いでした。昨年10月18日には常陸宮妃華子殿下をお迎えして令和6年度秋季慰霊祭を厳粛に滞りなく挙行することができました。本行事につきましては参列者581名と昨年度を上回る規模で実施することができ、関係者各位から賜りましたご支援ご協力に対し、改めて衷心より厚く御礼申し上げます。さらに年間を通じまして多くの関係諸団体による法要行事が執り行われたことに対しましても重ねて御礼申し上げます。

さて、千鳥ヶ淵戦没者墓苑におきましては、昭和34年3月28日、天皇皇后両陛下(当時)の行幸啓を賜り、竣工されて以来66年の歳月が過ぎました。また、本年は終戦80年の節目の年でもあります。戦後間もなく世相混乱のなか墓苑の創建に携われ、又その後は戦没者の慰霊奉賛に多大なご尽力をされた方々並びに奉仕会の活動にご支援ご協力頂いた多くの皆様のご芳情に思いを致し、年の始めにあたり、今一度戦没者慰霊の原点に立って奉仕会の責務完遂をお誓い申し上げます。また、令和5年の戦没者の遺骨収集の推進に関する法律の改正により、コ



謹んで新年のお慶びを申し上げます

日本遺族会
中央乃木会
東郷木会
陸修偕行社
日本郷友連盟
英霊にこたえる会
大東亜戦争全戦没者慰霊団体協議会
水笠保存会
三笠保存会
靖国神社協会
日本国防協会
千鳥ヶ淵戦没者墓苑奉仕会



本年の皆様方の益々のご多幸とご健勝をお祈り申し上げます。年頭のご挨拶と致します。

あなたに夢を。街に元気を。
くーちゃん 宝くじ



日本国練習艦隊 司令官 海将補 西山 高広

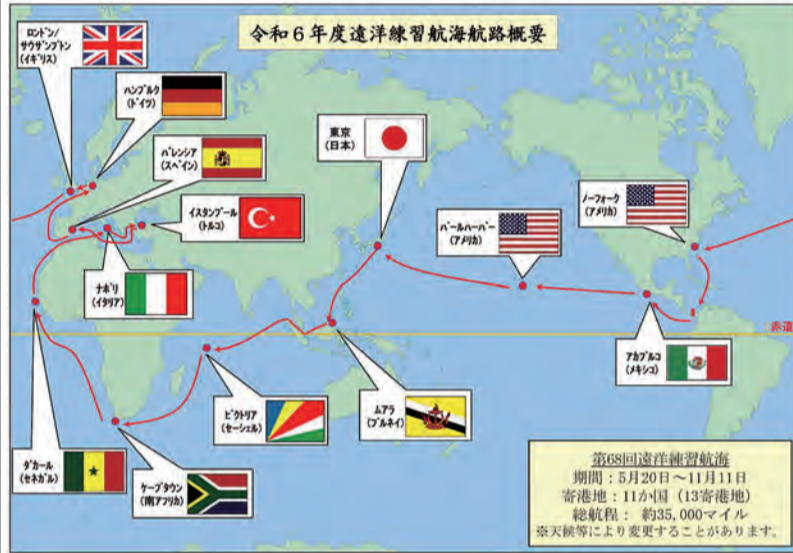
令和6年度遠洋練習航海を終えて 練習艦隊司令官 海将補 西山高広

この度は、広報紙「千鳥ヶ淵」への寄稿という貴重な機会を賜り、誠にありがとうございました。まずは、千鳥ヶ淵戦没者墓苑奉仕会の皆様へ、そのご活動に対し心から敬意を表します。また、遠洋練習航海出発前には、実習幹部約190名とともに、千鳥ヶ淵戦没者墓苑を訪問し、献花を執り行う機会をいただきましたことに御礼申し上げます。さて、本年度の練習艦隊は、令和6年5月20日から11月11日までの間、令和6年度遠洋練習航海を実施しました。日本を出国後西回りに航海し、スエズ運



ウエストミンスター寺院での献花

遠洋練習航海期間中、洋上及び寄港地の慰霊碑等で追悼行事、献花等を行っています。今年、マダガスカル島沖航行及び地中海航行に際し、それぞれ洋上追悼行事を実施しました。また、セーシェル、南アフリカ、イタリア、ドイツ、イギリス、アメリカのノーフォーク及びハワイで献花を実施しました。実習幹部も、各寄港地では様々な研修を通じ、訪問国の歴史



令和6年度遠洋練習航海航路概要

河ではなく喜望峰を經由しヨーロッパ方面を寄港後、パナマ運河を通峡して世界を一周しました。本年度の遠洋練習航海部隊は、練習艦「かしま」及び練習艦「しまかぜ」の2隻で編成され、11か国13寄港地を訪問しました。総日数175日、総航程約3万5千マイルという長期航海となり、総日数は遠洋練習航海史上最多日数となりました。今回の寄港地のトピックスとして、南アフリカのケープタウンへの練習艦隊としての初寄港と、日トルコ外交関係樹立100周年を記念してトルコのイスタンブールへの寄港が挙げられます。特に、長年にわたるトルコとの親密な友好関係の下で、現地での音楽演奏会やレセプション等での人的交流を通じ、日トルコ関係の更なる発展に寄与できました。そして、西アフリカ、ヨーロッパ、北米の国々に寄港できたことは実習幹部の国際感覚を涵養する上で非常に有益であり、今後、幹部海上自衛官として世界の舞台で活躍するにあたっての資を与えること

ができたのではないかと思います。練習艦隊は、毎年、遠洋練習航海期間中、洋上及び寄港地の慰霊碑等で追悼行事、献花等を行っています。今年、マダガスカル島沖航行及び地中海航行に際し、それぞれ洋上追悼行事を実施しました。また、セーシェル、南アフリカ、イタリア、ドイツ、イギリス、アメリカのノーフォーク及びハワイで献花を実施しました。実習幹部も、各寄港地では様々な研修を通じ、訪問国の歴史や文化を学ぶとともに、戦没者と訪問国がどのように向き合っているかということも理解しました。特に、アメリカのアリントン国立墓地での研修を通じ、アメリカにおける国家と戦没者との向き合い方を知り非常に感銘を受けたのではないかと思います。また、航海中の様々な機会を捉えて、実習幹部に対し、当該の行動海域と関連する戦史教育を実施することで、過去の戦史と自身の体験とがしっかりと結びつき、先人を偲ぶ気持ち



ご遺骨を引き渡す遺骨収集団員

マリアナ諸島戦没者遺骨引渡式

11月1日(金)、千鳥ヶ淵戦没者墓苑にて厚生労働省主催の戦没者遺骨引渡式と遺骨収集派遣団の解団式が行われた。今回の遺骨引渡式は本年度1回目(注1)で、令和6年10月17日から11月1日(16日間)の間、遺骨収集派遣団9名(注2)がマリアナ諸島で収容した24柱の御遺骨が日本戦没者遺骨収集推進協会から厚生労働省へ引き渡された。出席した福岡厚生労働大臣は、解団式で派遣団の16日にわたる遺骨収集作業の労を労うとともに、「令和5年6月には、国会で全会一致により「戦没者の遺骨収集の推進に関する法律」が改正され、遺骨収集の集中実施期間が令和11年度まで5年間延長されました。厚生労働省としては、この延長の趣旨を踏まえ、国の責務として可能な限り多くのご遺骨を収容し、一日も早くご帰還いただけるよう、法に基づく指定法人である日本戦没者遺骨収集推進協会の皆さまとともに、一層、力を尽くしてまいります」と挨拶した。



遺骨収集派遣団

ソ連抑留戦友・遺族会東京ヤゴダ会 第28回鎮魂慰霊祭

11月3日、ソ連抑留戦友・遺族会東京ヤゴダ会は第28回鎮魂慰霊祭を本墓苑で執り行い約45名が参列した。慰霊祭は、幹事・島本昌彦氏による開会の辞に始まり、国歌斉唱、黙禱増上寺院内寺院安養院・千葉裕定住職による読経、奉納民謡と進行し、最後に追悼の思いの紹介で終了した。冒頭、島本幹事は開会の辞で高齢のため参加できない平塚夫人からの便り、「夫である久夫は昨年10月3日に他界しました。長年にわたりお世話になりました。私も歩行が困難となり出席することが



シベリア抑留者慰霊之碑と吉田氏



喇叭吹奏による黙禱

できません。夫が残した歌、抑留の飢えを凌ぎヤゴダの実 母が摘みにし野苺に似て、を口ずさみながら、紙面のヤゴダの実に手を合わせた」を紹介した。また、最後の追悼の思いの紹介では、札幌から初めて参列した「シベリア抑留体験を語る会札幌」の会長・建部奈津子氏から二人のシベリア抑留体験者(神馬文男氏*1、吉田欽哉氏*2)の語り部としての慰霊活動等の紹介があった。この会は9年前から抑留者の体験を風化させてはならないと活動している慰霊団体である。*1:予科練出身、シベリア抑留3年、帰国後、抑留生活を綴った「異国の丘」を上梓、短歌「ラーゲルの窓に咲きたる水雪花 ダモイ ダモイと指字で溶かす」など詩歌も発表。99歳。*2:19歳で徴兵され南樺太の陸軍病院で衛生兵として配属、シベリア抑留4年、日本でシベリアに一番近い利尻島にシベリア抑留者慰霊之碑を昨年建立(写真)。99歳。



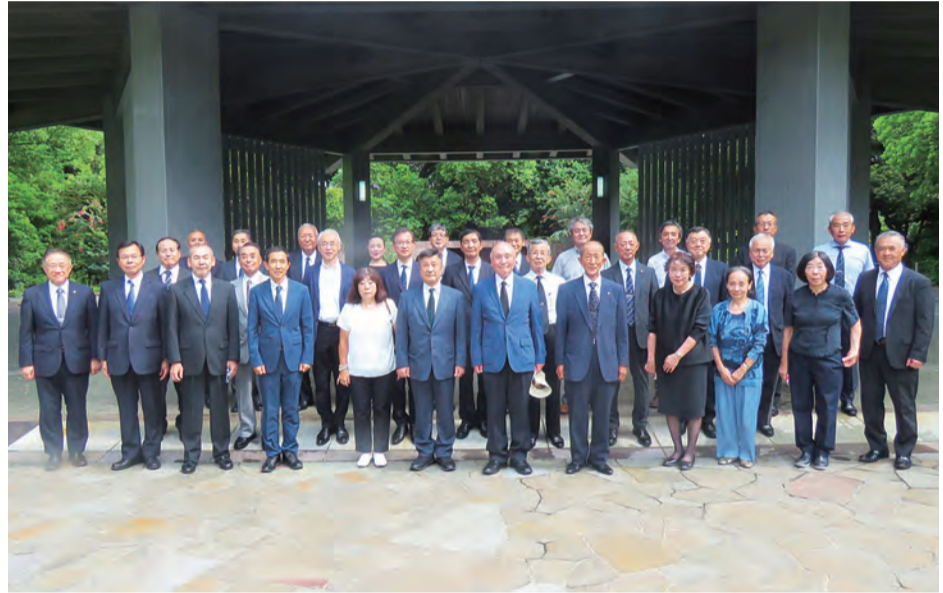
真の道 6年8月21日



全国強制抑留者協会埼玉県支部 6年8月16日



東京都練馬区立富士見中学校3年生 6年8月29日



水交会 6年8月22日

各団体の慰霊参拝



埼玉県小川町遺族会 6年9月12日



愛知県遺族会 6年9月12日



長野県飯山市遺族会 6年9月24日



静岡県川根本町遺族会 6年9月23日

この刊行物は、宝くじの社会貢献広報事業として助成を受け作成されたものです。



埼玉県狭山市遺族会 6年9月30日



愛知県犬山市遺族連合会 6年9月29日



ニューサウスウェールズ（オーストラリア）の高校生 6年10月3日



千葉県印旛都市連合遺族会 6年10月1日



千代田区海洋少年団 6年10月5日



東京都多摩市遺族会 6年10月4日



クラスノヤルスク遺族会 6年10月17日



群馬県榛東遺族会 6年10月5日

各団体の慰霊参拝



神奈川県茅ヶ崎市遺族会 6年10月24日



喇叭伝承会 6年10月20日

各団体の慰霊参拝



かむながらのみち 6年11月25日



東京地区メレヨン会 6年10月27日

第10回 全国仏教者による戦没殉難者慰霊法要

第10回全国仏教者による戦没殉難者慰霊法要が11月14日、千鳥ヶ淵戦没者墓苑で営まれた。世界連邦日本仏教徒協議会(世連仏)と関西宗教懇話会の共催で、全国各地から仏教を中心とする7宗11宗派の宗教者等約50名が参列し、谷内弘照・高野山真言宗神護寺貫主を導師に墓前で慰霊の祈りを捧げた。この法要は、宗旨宗派の垣根を超えて世界平和の実践を図ることを目的に毎年行われている。

同導師は表白(*)の中で「我が国の平安は護国の英霊の礎の功にほかならず、我等ここに三百万英霊の遺徳をしのび追善追福の法儀を修し奉る。仰ぎ願わくば諸英霊速やかに無上仏果を証し永えに国運の発展と世界恒久平和の招来を護念し給わらんことを重ねて乞う」と述べ戦没殉難者を慰霊した。

(*)表白(ひょうびやく)…法要の趣旨



墓前での慰霊法要



六角堂へ向かう僧侶

終戦80年募金

2,880,000円
累計(6年11月30日現在)
1,440,000円
(10月1日から11月30日の間)

☆募金に協力された皆様(敬称略、順不同)
伊藤康成、榛葉道尚、勝呂洋次、沖田康宏、増田健三、白石世津子、西口邦左、稲垣千枝、細川要子◎、林 英治、倉持勝光・三朗、倉持幸一、倉持 稔、間中真喜子、浅見浩一、小澤 清、多田 宏、岩浅博之

凡例：◎は100口以上の高額募金者(皆様のご芳志に篤く御礼を申し上げます)

本年もよろしくお願いたします。

- ◎奉仕会年度会費納入者(団体・個人)(敬称略、順不同)
富士ダイス(株)仁熊啓介、江口和美、糸水義宏、眞弓幸久、山口靖浩、瀧下幸博、城戸良浩、有馬 進、大内信作、高橋 誠、鈴木悠介、森井 聡、勢井 学、鹿目芳浩、玉坂繁光、坂井修一、斉藤貴広、林田 勝、石井 仁、下川 弘、井本幸男、山崎四郎、長澤邦修、佐藤義和、田中健太郎、松尾拓明、山川 栄一、保氣口邦夫、西條昌弘、吉村和哉、古谷高宏、新和ダイス(株)【上野敏栄】、加藤史明、上野むつ子、阿部陽治、河村 涼、田中富士雄
 - ◎新入会員(敬称略、順不同)※正は正会員、終は終身会員
山口功晟(終)、伊藤まひわ(正)、坂本篤哉(終)、福島一貴(終)、岩崎弥生(正)、小櫻貴大(終)、船木勝利(終)、森田ひろみ(正)、島田雄樹(終)、根本敏弘(終)
 - ◎奉納者(団体・個人)(敬称略、順不同)
茅ヶ崎市戦没者遺族会、今治市連合遺族会、埼玉県遺族連合会、三鷹市遺族会、大和市遺族会、中央区遺族会、さいたま市浦和遺族会、和光市遺族会、クラスノヤルスク遺族会、東部ニューギニア戦友・遺族会、東京メレヨン会、東京ヤゴダ会、法華宗宗務院、日蓮宗宗務院、浄土真宗本願寺派、阿含宗東京別院、普明会教団、妙智會教団、念法真教総本山、立正佼成会、解脱会、世界連邦日本仏教徒協議会、関西宗教懇話会、かむながらのみち、愛媛東予万灯講、丸山教藤の花会、土曜会、東郷神社、千鳥ヶ淵戦没者墓苑奉仕茶会、隊友会、水交会、内閣総理大臣、土曜会裁判所長官、参議院議長、国家公安委員長、防衛大臣、環境大臣、農林水産大臣、立憲民主党、宮内庁、各都道府県【北海道、青森県、岩手県、秋田県、宮城県、山形県、東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県、茨城県、静岡県、群馬県、栃木県、山梨県、長野県、新潟県、富山県、石川県、愛知県、岐阜県、三重県、奈良県、和歌山県、徳島県、愛媛県、高知県、福岡県、佐賀県、大分県、長崎県、山口県、香川県、広島県、大阪府、兵庫県、鳥取県、岡山県、広島県、山口県、徳島県、高知県、福岡県、佐賀県、大分県、長崎県、山口県、鹿児島県、沖縄県、愛媛県、高知県、福岡県、佐賀県、大分県、長崎県、山口県、鹿児島県、沖縄県、(株)ニッポン放送、(株)小松ストア、アクトイブワン(株)、大山(株)、(株)秀拓、加賀谷正子、芦川いち子、武笠一男、秀平良子、藤平一照、竹内一香、吉永龍奏、吉永龍陽、佐藤佐季子、安藤留盟、山村龍雲、柴田米實、坂田鎮蔵、水谷泉雄、萱沼豊子、菊池政巳、菊地 頼、奥住栄子、稲垣千枝、秋葉正男、森本 浩吉、米原恭淳、御手洗朋子、小滝信也、廣川貞雄、酒井治雄、杉村克治
 - ◎参拝団体(前項以外、敬称略、順不同)
新富村遺族会、多摩市遺族会、伊豆の国市遺族会、八街市遺族会、千代田区海洋少年団、喇叭保存会、喇叭伝承会、平塚市遺族会、アジア太平洋友好協会
 - ◎清掃奉仕(敬称略、順不同)
千鳥ヶ淵戦没者墓苑清掃奉仕会、阿含宗清掃奉仕会、東京葵ライオンズクラブ清掃奉仕会、千鳥ヶ淵戦没者墓苑トイレ清掃奉仕会
 - ◎献花台奉仕者(敬称略、順不同)
松風花道会(松本君水、釜堀恵水、男鹿澄水、倉持桃水)、古流わかば会(武藤理春、武藤理高、武藤理恵、秋葉理恵、金澤理代、丸山理宛)、藤栄流(落合一文、倉地一博、溝淵一富)、古流茂風会(大藤茂風、鈴木泉風、田巻泰風、高橋里風)、国際華道如心流(新井礼心、鈴木淑峯、片桐喜心、吉見恵峯)、古流・草翠流(関根広草、阿久津由翠、徳竹草華、林 聖子)
- 令和6年11月30日まで受付分を掲載、12月1日以降受付分は次号に掲載します。

(公財)千鳥ヶ淵戦没者墓苑奉仕会への入会のご案内

千鳥ヶ淵戦没者墓苑奉仕会は、皆様のご支援に支えられ活動しています。当会では皆様のご入会を心からお待ちしております。

1 会員の種類と会費

区分	名称	会費
個人	正会員	¥3,000/年
	終身会員	¥30,000 (1回)
団体・法人	特別会員	¥10,000/年
	永代会員	¥100,000 (1回)

2 会費の納入

(納入要領の細部は、千鳥ヶ淵戦没者墓苑HPに記載しております)

- ①郵便局での振り込み
 - 郵便振替口座：記号・番号 00140-2-42556
- ②銀行での振り込み(住所・氏名はメール等で別途お知らせ下さい)
 - 振込先：りそな銀行 九段支店
 - 店番号：274
 - 普通口座：0831949
 - 口座名義：公益財団法人 千鳥ヶ淵戦没者墓苑奉仕会

3 会員の特典

- ・2ヶ月に一回発行する広報紙「千鳥ヶ淵」(行事案内含む)を送付します。
- ・秋季慰霊祭へ希望すれば参加できます。(多数の場合抽選となります)
- ・永代会員名簿は、秋季慰霊祭で奉納されます。

終戦80年事業のお知らせとお願い

本令和7年、終戦80年の大きな節目を迎えるにあたり、奉仕会は創設の原点に立ち返り、戦没者の慰霊奉賛の気運が更に昂揚されるとともにこの灯火が末永く国民全般、特に若い世代に継承されることを念願し、次の事業を令和6年度から実施しております。皆様のご協力を切にお願い致します。

1 懸賞小論文(投稿文)を募集

- ・テーマ：「戦没者慰霊のあり方(慰霊の継承)」
- ・内容：年配者はいかに慰霊を若い人に伝えるか、若い人はそれをどのように受け止めるべきかなど。
- ・規定：メールまたは郵送で応募(努めてデータで)。字数は1200~2000字。ワード、A-4、横書き。(手書きの場合、400字詰め原稿用紙使用、鉛筆不可。)表紙に氏名(ふりがな)、年齢、〒住所、電話番号、メールアドレス、職業を明記。応募された原稿等は返却しません。また、著作権、編集権は当奉仕会に帰属します。二重投稿不可。
- ・資格：不問
- ・賞：最優秀7万円×1点、優秀5万円×2点、佳作3万円×3点(予定)
- ・審査：千鳥ヶ淵戦没者墓苑奉仕会
- ・応募先：〒102-0075 東京都千代田区三番町二
公益財団法人 千鳥ヶ淵戦没者墓苑奉仕会
メールアドレス：c-houshikai@boen.or.jp
- ・応募期間：令和6年7月から令和7年1月末
- ・問合せ先：メールアドレス c-houshikai@boen.or.jp
- ・発表：最優秀、優秀及び佳作を広報紙「千鳥ヶ淵」8月号(終戦80年特集号)に掲載予定
- ・季刊「公募ガイド」(秋号、10月9日発売)にも応募要項を掲載中

WEB「Koubo」
<https://koubo.jp/>

2 終戦80年募金

- ・目的：千鳥ヶ淵戦没者墓苑のリニューアル(施設・設備等)
- ・一口：個人5千円、団体3万円
- ・期間：令和6年7月1日から令和7年12月末日まで
- ・郵便振替口座：記号・番号 00140-2-42556
- ・「終戦80年募金」と明記して下さい。

公益財団法人 千鳥ヶ淵戦没者墓苑奉仕会
理事長 榊枝 宗男

墓苑便り(奉仕会だより)

7年1月~2月の献花の予定

- ・帝国華道院研究部の会員による1月2月の献花は次の方々です。
- ・ご来苑の際は、是非ご鑑賞下さい。
- 1月 古流松瀬会 石井理顕
- 駿 東流 小泉恵華
- 2月 柴山古流・緑山流 井上冷美
- 古流正華道 芦沢千啓

令和7年 役員会議等の予定

- ・令和6年度 第2回通常理事会
令和7年2月14日(金)
- ・令和7年度 第1回通常理事会
令和7年4月24日(木)
- ・令和7年度 定時評議員会
令和7年5月22日(木)
- ・令和7年度 期末監査
令和7年4月11日(金)

それぞれ会の2週間前までに関係各位へ細部のご連絡をメール等で送致します。



集会用テント



一輪車



宝くじ桜



子宮がん検診車



「健康手帳」(冊子)

宝くじは、みんなの暮らしに役立っています。



リスザル展示施設



救急普及啓発広報車



宝くじドリームジャンボ絵本



ベンチ



宝くじ



宝くじは、少子高齢化対策、災害対策、公園整備、教育及び社会福祉施設の建設改修などに使われています。

一般財団法人日本宝くじ協会は、宝くじに関する調査研究や公益法人等が行う社会に貢献する事業への助成を行っています。

一般財団法人
日本宝くじ協会
<https://jla-takarakuji.or.jp/>



この刊行物は、宝くじの社会貢献広報事業として助成を受け作成されたものです。